

# NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

平成26年5月30日

T B 1 4 - 0 4 8 7

## NEDO事業「再生医療の産業化に向けた細胞製造・ 加工システムの開発」委託契約締結のお知らせ

タカラバイオ株式会社は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した事業「再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発」に採択され、この度、本事業に関する委託契約が締結されましたのでお知らせします。

本事業は、再生医療製品及び原料となるヒト幹細胞を製造・加工するための製造システムを開発することを目的としています。当社は、本事業において「ヒト多能性幹細胞由来の再生医療製品製造システムの開発」を担当し、iPS細胞やES細胞などの幹細胞から製造される再生医療製品の製造工程における細胞の品質管理・評価試験方法を開発します。

### 【委託概要】

事業名	再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発
研究開発項目	ヒト多能性幹細胞由来の再生医療製品製造システムの開発
委託先	当社、他企業11社、京都大学
期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
当社への委託金配分額	平成26年度 34,259,760円(税込)
参考	<a href="http://www.nedo.go.jp/koubo/EK3_100019.html">http://www.nedo.go.jp/koubo/EK3_100019.html</a>

当社は、iPS細胞など幹細胞の基礎研究や、再生・細胞医療開発支援（CDMO事業）に注力しております。本事業を通じて幹細胞研究の実用化、再生・細胞医療の実現化に貢献してまいりたいと考えております。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

---

この資料は、5月30日に京都経済記者クラブに配布しています。

この件に関するお問い合わせ先  
タカラバイオ株式会社  
事業開発部  
Tel 077-543-7235

## <参考資料>

### 【語句説明】

#### 再生医療製品

再生医療は、ヒトの細胞・組織を取得・加工し移植することで、損傷を受けた生体機能を回復させる医療です。ここで移植される製品を再生医療製品といいます。本事業では、iPS細胞やES細胞といったヒト多能性幹細胞を拡大培養、分化誘導(培養)、品質管理(評価)、加工、保存(凍結・解凍)等のプロセスを経て製造・加工される再生医療製品を開発の対象としています。

#### 多能性幹細胞

種々の細胞へ分化できる能力(多分化能)と分裂増殖を経ても未分化な細胞を維持できる自己増殖能を有する細胞のことをいいます。例えば、再生医療への応用が期待されているヒト初期胚より樹立されたES細胞(Embryonic Stem Cells: 胚性幹細胞)やヒト体細胞をリプログラミングして得られた人工多能性幹細胞(induced Pluripotent Stem Cells:iPS細胞)も含まれます。

#### CDMO 事業

当社が拡大を目指している、バイオ医薬品のGMP(Good Manufacturing Practice)製造受託や研究開発のパートナーとして受託業務を行う事業のことです。CDMO事業の具体例としては、遺伝子治療用のベクターや再生・細胞医療に利用される細胞の、製造プロセス開発や品質管理試験法の開発、試験製造、バイオアッセイ、GMPに準拠した受託製造があげられます。なお、CDMOとはContract Development Manufacturing Organizationの略です。